



判例体系 Quick Guide

Version 1.1.4

このクイックガイドでは、具体的な事例をもとに、
判例データベースの基本的な利用方法を説明します。

1	基本画面説明編	2
1.1	検索画面	2
1.1.1	フリーワード検索画面	2
1.1.2	体系目次検索画面	3
1.2	結果表示画面	5
1.2.1	検索結果一覧画面	5
1.2.2	判例詳細画面	5
2.	基本検索編	7
2.1	あるキーワードを含む判例を検索する	7
2.2	特定の論点に関する判例を検索する	8
2.3	結果を表示する	9
3	便利な機能説明編	11
3.1	より細かい条件を指定して判例を検索する	11
3.2	体系項目を検索する	12

1 基本画面説明編

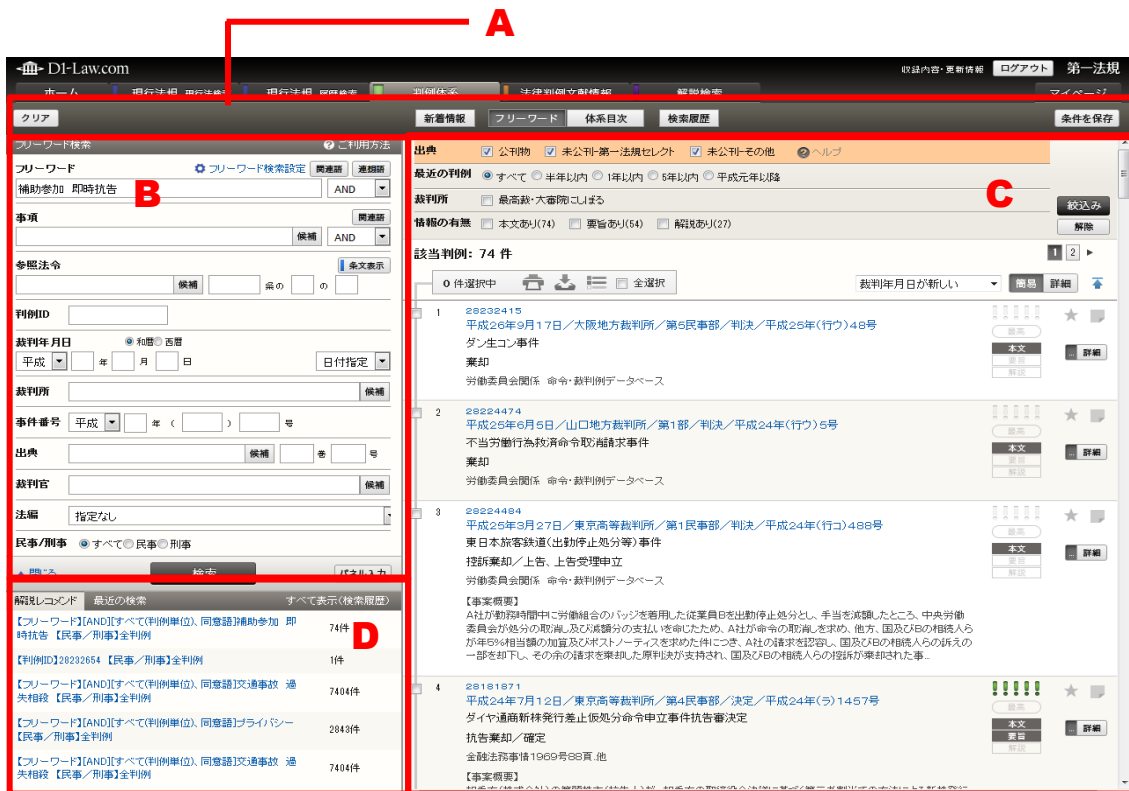
最初に、『判例体系』の基本的な画面について説明します。

『判例体系』には、検索画面として「フリーワード検索画面」と「体系目次検索画面」、そして検索した判例を表示する「一覧画面」と「判例詳細画面」があります。

1.1 検索画面

1.1.1 フリーワード検索画面

フリーワード検索画面は、任意のキーワード等の検索条件を指定して検索するための画面です。



A : 判例体系メニューバー

判例体系のメニューを表示します。「フリーワード」、「体系目次」の各ボタンをクリックすると、それぞれの検索画面を表示します。また、「新着情報」をクリックすると「最近の注目判決」及び「新規登載判例」を表示します。「クリア」ボタンは、検索項目入力エリア (B) の入力済みの検索条件を消去するボタンです。

B : 検索項目入力エリア

検索項目を入力するためのエリアです。初期設定では、フリーワード、事項、参照

法令、判例 ID 等の入力欄を表示しています。「その他の検索条件」のリンク文字列をクリックすると、より細かい検索条件の入力画面が展開します（「3.1 より細かい条件を指定して判例を検索する」をご参照ください）。

C：結果表示エリア

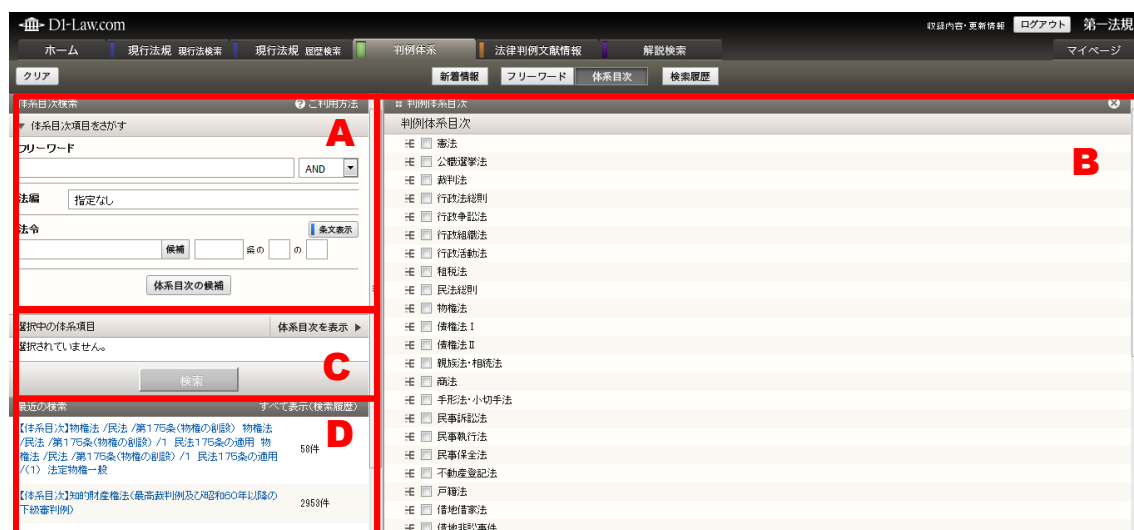
結果表示エリアには、検索前には各種お知らせを表示しています。検索を実行した後は、その結果を表示します。

D：解説レコメンド・最近の検索エリア

各検索画面では、画面ごとに、直前に実行した検索の履歴（キーワードやヒットした件数等）5 件までを表示します（最近の検索）。フリーワード検索画面では、それに加えて、「解説レコメンド」を表示します。

1.1.2 体系目次検索画面

『判例体系』では、「体系目次」のもとに判例（要旨）を整理・分類しています。この「体系目次」をたどって論点・争点が同じ判例をまとめて探せるのが、体系目次検索画面です。





A：体系項目検索エリア

体系項目を検索するためのエリアです。フリーワードや法編、法令名を入力して「体系目次の候補」ボタンをクリックすると、体系目次表示エリア（B）に、該当する体系項目を表示します（「3.2 体系項目を検索する」をご参照ください）。

B：体系目次表示エリア

体系目次を表示します。行にカーソルを合わせてクリックすると、その下の階層の体系目次を表示します。体系目次の左側にあるボックスにチェックマークを付ける

と、その体系項目を選択し、選択中の体系項目エリア (C) に反映します。
各行右端の“”マークをクリックすると、その項目を単独ですぐに検索できます。
各行左端の“”マークは、その下に階層があることを示しています。このマークがない階層が最下層です。
検索実行後は、このエリアに検索結果を表示します。そこからもう一度体系目次を表示したい場合には、選択中の体系項目エリア (C) の、「体系目次を表示」ボタンをクリックしてください。

C : 選択中の体系項目エリア

体系目次表示エリア (B) で選択した体系項目をこのエリアに表示します。誤って選択したときは「解除」のリンク文字列をクリックすることで、体系項目の選択を解除することができます。また、はじめから選び直すときは「全解除」ボタンをクリックして、選択中の体系項目をすべて解除します。

D : 最近の検索エリア

最近の検索エリアには、直前に実行した体系目次検索の履歴 (検索した体系目次やヒットした件数等) を 5 件まで表示します。「すべて表示 (検索履歴)」のリンク文字列をクリックすると、「検索履歴」画面に遷移し、最大 100 件の検索履歴を検索実行日ごとに表示します。

1.2 結果表示画面

1.2.1 検索結果一覧画面

検索結果一覧画面には、フリーワード検索や体系目次検索等で検索した判例を一覧表示します。



A：一覧操作エリア

このエリアの機能を利用して、検索結果一覧に対して「絞り込む」「印刷する」「ダウンロードする」「並べ替える」等の操作を行うことが可能です。

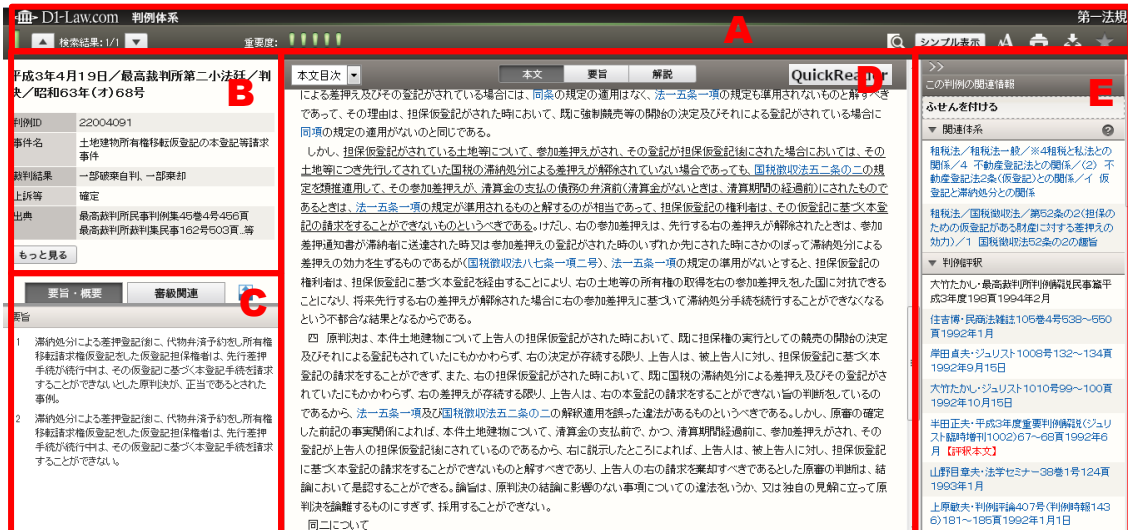
検索結果の件数もこのエリアに表示します。

B：検索結果一覧

検索した判例の基本的な情報を一覧表示します。

1.2.2 判例詳細画面

検索結果一覧画面の各判例をクリックすると、別ウィンドウが開いて判例詳細画面を表示します。この画面には、要旨や本文などの詳細情報を表示します。



A : 判例詳細画面ツールバー

前後の判例への移動や重要度表示、判例内検索、文字サイズ変更、印刷、ダウンロード、お気に入り等のアイコンを表示したツールバーです。

※「お気に入り判例」については、『判例ユーザーガイド』をご参照ください。

B : 書誌情報表示エリア

判例 ID や著名事件名、事件名、裁判結果などの、書誌情報を表示するエリアです。「もっと見る」ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、より詳細な情報を確認することができます。

C : 要旨・概要等/審級関連表示エリア

要旨・概要や審級関連の情報を表示するエリアです。「要旨・概要」タブをクリックすると判例の要旨や判示事項等を表示し、「審級関連」タブをクリックすると、審級関係にある判例の書誌情報を表示します。

D : 本文/要旨/解説表示エリア

本文や要旨、解説を表示するエリアです。「本文」ボタンをクリックすると判例の本文を、「要旨」ボタンをクリックすると判例の要旨やひもづく体系を、「解説」ボタンをクリックすると判例の解説を表示します。

E : 関連情報エリア

判例評釈や参照法令など、その判例に関連する情報を表示するエリアです。また、「ふせんをつける」をクリックすることにより、その判例にふせんを付けることができ、「お気に入りボタン」をクリックすることにより、その判例を「お気に入り判例」とすることができます。

※「ふせん」の詳細については、『共通機能クイックガイド』をご参照ください。

2. 基本検索編

ここでは、2つの事例をもとに判例の検索を行い、さらに検索の結果から実際の判例を表示する手順について説明します。

2.1 あるキーワードを含む判例を検索する

ここでは、「不動産明渡し」及び「代理」の両方のキーワードを含んだ判例を検索します。まずは、フリーワード検索画面を表示して、フリーワード入力欄にキーワードを入力します。

手順

①フリーワード検索画面を表示→②検索条件を入力→③検索を実行する



①「フリーワード」をクリックし、フリーワード検索画面を表示します。

②「フリーワード」の入力欄にカーソルを合わせ、検索する用語を入力します。ここでは、「不動産明渡し」と「代理」をスペースで区切って入力します。

③「検索」ボタンをクリックし、右のエリアに検索結果一覧を表示します。

2.2 特定の論点に関する判例を検索する

ここでは、体系目次をたどって、「民法（物権法）に関して占有の有無が論点となっている判例」を検索する場合の例を示します。

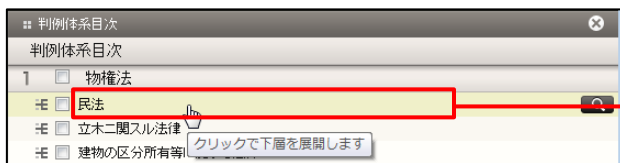
手順

①体系目次検索画面を表示→②～⑥下層を開いて体系をたどる→⑦検索を実行する

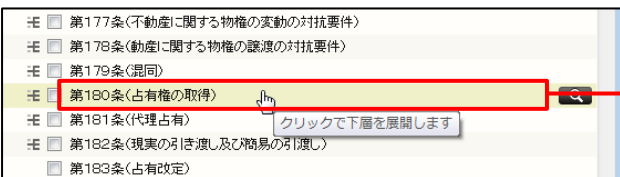


①「体系目次」をクリックし、体系目次検索画面を表示します。

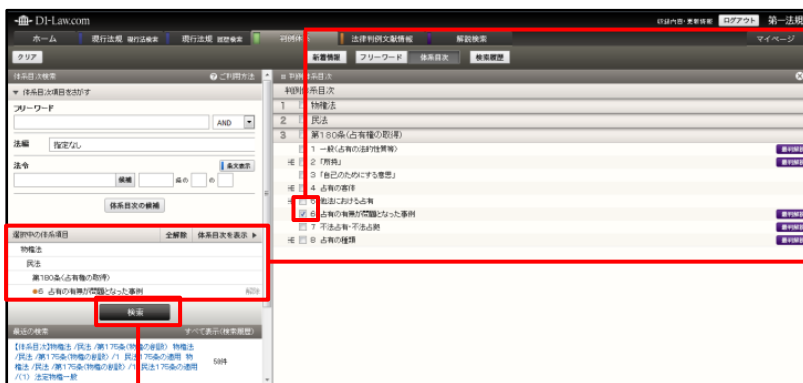
②目的の体系項目（ここでは「物権法」）を選択し、クリックします。



③クリックすると下層が展開します。



④次々と下層を開き、目的の項目までたどっていきます。



⑤目的の項目までたどり着いたら、チェックボックスにチェックマークを付けます。

⑥選択中の体系項目エリアに、選択した項目（ここでは「物権法/民法/第180条（占有権の取得）/6 占有の有無が問題となった事例」）を表示します。

⑦「検索」ボタンをクリックし、右のエリアに検索結果を表示します。

2.3 結果を表示する

検索を実行して、結果の一覧を表示します。ここでは、「2.2 特定の論点に関する判例を検索する」で選択した体系項目にひもづく判例を表示します。

手順

①検索を実行→②検索結果の一覧を表示→③一覧から判例を選択→④判例詳細画面で判例の詳細情報を表示



①「検索」ボタンをクリックし、検索を実行します。

②検索結果の一覧を表示します。



③一覧から判例を選択し、リンク文字列をクリックします。



④ 選択した判例詳細画面が別ウィンドウで開きます。



「本文」「要旨」「解説」の各ボタンをクリックすることにより、本文／要旨／解説を切り替えることができます。



クリックすることにより、関連情報の表示／非表示を切り替えることができます。

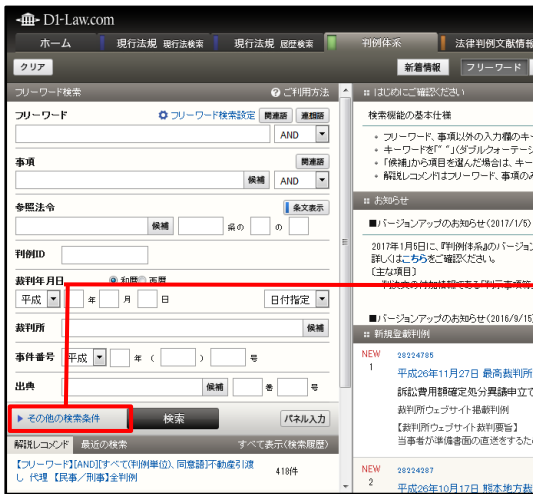


3 便利な機能説明編

『判例体系』には、前編までに示した以外にも、様々な機能があります。ここでは、いくつかの便利な機能について紹介します。

3.1 より細かい条件を指定して判例を検索する

フリーワード検索で、より細かい条件を指定して判例を探したい場合には、「その他の検索条件」のリンク文字列をクリックします。フリーワード検索のエリアが広がって、裁判官、法編を入力する欄、「民事/刑事」を選択する欄が展開します。



① 「その他の検索条件」のリンク文字列をクリックします。



② フリーワード検索のエリアが広がって、裁判官などの入力欄を表示します。

3.2 体系項目を検索する

体系目次をたどって目的の体系項目を表示するには時間がかかる場合や、目的の体系項目の位置がはっきりしない場合があります。そのようなときには、体系項目を検索するとよいでしょう。

ここでは、「2.2 特定の論点に関する判例を検索する」で検索した体系項目を、体系目次をたどらずに検索して指定する方法を紹介します。

① 検索したい体系項目に関連する用語をフリーワード欄に入力します。

② 「体系目次の候補」ボタンをクリックします。

③ 左エリアに入力した用語を含む体系項目（条レベル）を一覧表示します。

④ 「+」をクリックして下層を開き、目的の体系項目を探します。

⑤ 目的の体系項目のチェックボックスにチェックマークを付け、「選択中の体系項目」エリアに反映されたことを確認します。

総合判例データベース

判例体系

Quick Guide [Version 1.1.4]

令和2年10月26日

第一法規株式会社

<http://www.daiichihoki.co.jp/>

お問い合わせは

D1-Law.com サポートセンター

TEL 0120-203-480

電話受付時間／9:00～17:30(土・日、祝日除く)

E-mail: support-d1law@daiichihoki.co.jp

©第一法規